



# 西条市 土砂災害 ハザードマップ

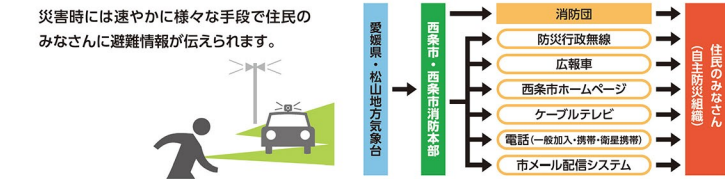
このマップについて ABOUT THIS MAP  
この土砂災害ハザードマップは、西条市の南側に位置する豊かな山々で大雨が降ることにより土砂災害が発生するリスクや、同様の雨が降った場合の加茂川や中山川などの河川氾濫の範囲を示した地図です。  
このマップで示した土砂災害警戒区域以外でも災害は発生する可能性があります。土砂災害や気象情報に関する正しい情報の理解と、早めの避難行動を心がけてください。

保存版  
timeless edition

ハザードマップを見て、土砂災害の危険がある場合は、警戒エリアの外へ避難。もしくは崖と反対側の2階以上で安全確保！



## 防災情報の伝達方法



### 情報の入手先 (パソコン、携帯サイト) テレビやラジオでも情報収集を!

●西条市ホームページ (スマホ・PC) https://www.city.saijo.ehime.jp/	●松山地方気象台 (スマホ・PC) http://www.jma-net.go.jp/matsuyama/
●気象庁 (スマホ・PC) http://www.jma.go.jp/	●キキログ (気象庁) (スマホ・PC) https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level
●えひめ土砂災害情報マップ (スマホ・PC) https://www.sabomap.pref.ehime.jp	●防災情報提供センター (国土交通省) (スマホ・PC) https://www.mlit.go.jp/saigaibosaijoho/
●えひめの防災・危機管理 (スマホ・PC) https://ehime.secure.force.com/	●(携帯サイト) https://www.mlit.go.jp/saigaibosaijoho/i-index.html

スマホ用アプリ

- 西条市公式アプリ「防災情報さいじょう」  
iPhoneをお使いの方 (iOS 5.1.1以上) | Androidをお使いの方 (Android 2.3.3以上)
- 愛媛県避難支援アプリ「ひめシェルター」  
iPhoneをお使いの方 (iOS 12.0以上) | Androidをお使いの方 (Android 6.0以上)

■西条市 安全・安心情報お届けメール m-saijo@xpressmail.jp

### 困ったときの対応・連絡先

- 逃げ遅れた場合: あわてず2階以上に移動し、消防署に連絡し救助を待つ
- 自力で避難できない場合: 市役所・総合支所・自治会長・自主防災組織・民生児童委員・近所の人・消防団に連絡し、支援を要請する
- 大けがをした場合: 応急処置をし、消防署に電話する
- 停電になった場合: 電源コンセントを切り、四国電力送配電(株) 西条事業所 0120-410-638 に電話する
- 家族の安否が不明の場合: 災害用伝言ダイヤル171などで安否確認のうえ、警察署・市役所・支所に電話する

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認することができます。  
Web171(災害用伝言板)とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のごとく、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから利用することができます。 <https://www.web171.jp>

西条市役所(防災専用)	0897-52-1400	愛媛県 東予地方局	0897-56-1300	消防署	119	警察署	110
西条市消防本部	0897-56-0250	西条警察署	0897-56-0110	西条西警察署	0898-64-0110		

西条市土砂災害ハザードマップ 作成/令和4年2月 西条市 経営戦略部 危機管理課 TEL 0897-52-1283(直通) FAX 0897-52-1725(課専用)

## 土砂災害に関する気象情報ととるべき行動

土砂災害は山間部や傾斜地を中心に起こります。大雨や地震など、地盤が緩むようなことが起きたときは注意が必要です。裏面のハザードマップで浸水想定区域など危険な箇所をあらかじめご確認ください。

雨の降りかた	気象庁/西条市の情報: 警戒レベル	みなさんととるべき行動
大雨の数日前～約1日前 大雨の可能性が高くなる	LEVEL 1 ●気象情報 ・台風発生に関する愛媛県気象情報(随時発表)	最新情報を確認しよう ○テレビやラジオ、インターネットなどで天気予報を確認 ○家族全員の今後の予定を確認 ○備品など防災グッズの確認(不足しては買い出しへ)
大雨の半日前～数時間前 雨が降り始める雨が強さを増す	LEVEL 2 ●土砂災害は、被害が出る前に備える時間があります。警戒区域からは立退き避難が基本です。事前に備え、被害を無くそう!	ハザードマップなどで自らの行動を確認しよう ○万に備え、親戚・知人へ避難要入について相談 ○ハザードマップで避難場所、避難経路を確認 ○携帯電話を充電 ○避難先への移動を検討 ○親戚・知人宅へ避難開始
大雨の数時間前～2時間程度前 ・河川の増水、道路の冠水、家の床下浸水のおそれ	LEVEL 3 ●高齢者等避難 発令! 大雨・洪水警報 河川: 氾濫警戒情報	危険な場所からお年寄りなどは早めに安全確保しよう ○警戒区域内で安全確保に時間がかかる方は早めの避難を開始 ○持ち出し品の準備・再確認 ○テレビで台風情報の確認
大雨が降り始める ・河川の更なる増水による氾濫、道路の冠水、家の床下浸水のおそれ	LEVEL 4 ●避難指示 発令! 土砂災害警戒情報 土砂災害の危険がない避難ルートでただちに避難してください。 河川: 氾濫発生情報	危険な場所から全員安全確保しよう ○警戒区域内の方は、市内の避難場所へ避難する(立退き避難) 止むを得ない場合は、崖と反対側の2階以上で安全確保(屋内安全確保) ○自主避難所や車中泊が可能な立体駐車場へ移動開始
豪雨が降り始める 傘をさしても濡れるほどの降り方 ・洪水や土砂災害など大災害発生のおそれが極めて高い状況	LEVEL 5 ●緊急安全確保! 大雨特別警報 土砂災害の発生が切迫している状況	命の危険! いますぐ安全確保! 命を守る最善の行動をとろう ○屋内安全確保を選択される方は、外に出ず、室内でできるだけ安全な場所待避

屋内で待避していても命に危険がおよび、立退き避難が必要な場合があります。下記の場所にお住まいの方は、命を守るために立退き避難が必要かどうかをぜひ自分で確認してください。(土砂災害ハザードマップで警戒区域内の場合に該当する。)  
●土流が想定される区域内に住まいがあり、木造住宅の場合。  
●がけ崩れが想定される区域内に住まいがあり、2階以上に避難できない建物の場合。  
●土砂災害特別警戒区域内に住まいがある場合。

## マイ・タイムライン

マイ・タイムラインは、土砂災害の危険が高まる時に、一人ひとりがとるべき防災行動について、「いつ」、「何をやるのか」を整理した個人の防災計画です。行動のチェックや、避難の判断をサポートするツールとして役立てることができます。

我が家の防災メモ

名前: \_\_\_\_\_

確認!  
判断材料の入手  
何が危険? 大雨や台風の間は何を確認?

いつ? 逃げ時  
何ができる? 準備は?

どこに? 避難先  
どこに? どのルート?

どのように? 避難する方法  
だれ? 歩いて? 車?

その他メモ

西条市マイタイムライン(一人分)  
こちらの紙面をコピーしたり、右のQRコード(もしくはURL)を読み取り、必要分を作成して活用しましょう

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kikkani/timeline.html>

## 土砂災害のことを知ろう

### 土砂災害への心構え

過去に起きた土砂災害

平成26年8月に発生した広島市の土砂災害では、複数の谷で同時多発的に土砂崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。国は同年11月にこれまでの「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域について明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。愛媛県でも、平成16年には過去最多の6つの台風が接近し、県内各地で土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。河川に沿って急峻な山々に囲まれた地域では、風水害による土砂災害のおそれや、大雨時の河川氾濫による浸水被害も予想されます。日ごろから、災害についての理解を深め災害時に必要なものや情報を備えておくことが防災・減災につながります。



雨に注意していますか? 土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

逃げ方を知っていますか? 土砂災害はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れの方向とは、直向に横に逃げましょう。

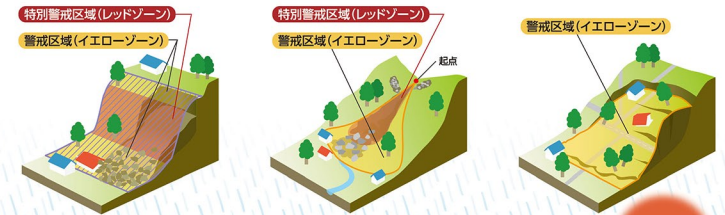
「避難情報」が発令されたら  
●避難情報の発令は、避難行動を開始するタイミングです。  
●気象情報などにも注意し、いつでも行動できるように準備しておきましょう。危険を感じたら自主的に避難することも重要です。  
●避難先やそこまでの移動時間を調べておきましょう。  
●発令直後は、避難所が開設されていない場合があります。

逃げ方は、立退き避難が基本です

20ミリ

### 土砂災害の種類と特徴

- がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)**  
主な前兆現象  
●がけから出る水がにごる  
●斜面に割れ目、変形がある  
●がけから小石が落ちてる  
●地下水やわき水が止まる
- 土石流**  
主な前兆現象  
●川の流れにごり、流木が運り始める  
●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- 地すべり**  
主な前兆現象  
●地面にひび割れができる  
●斜面に水がふき出る  
●沢や井戸の水がにごる  
●家やようちんが壊れる



レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域) 建物や人が命に危険が生じるおそれのある区域

イエローゾーン(土砂災害警戒区域) 土砂災害のおそれのある区域

雨に注意していますか? 土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

逃げ方を知っていますか? 土砂災害はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れの方向とは、直向に横に逃げましょう。

「避難情報」が発令されたら  
●避難情報の発令は、避難行動を開始するタイミングです。  
●気象情報などにも注意し、いつでも行動できるように準備しておきましょう。危険を感じたら自主的に避難することも重要です。  
●避難先やそこまでの移動時間を調べておきましょう。  
●発令直後は、避難所が開設されていない場合があります。

逃げ方は、立退き避難が基本です

20ミリ

## 自宅で安全確保～日頃の対策

### 自宅の点検をしよう!

家の外

- 雨どい: 枯葉や砂が詰まっていないか、はずれていないか
- テレビアンテナ: さびたりゆるんだりしていないか
- 屋根瓦やトタン: めくれたり壊れたりしていないか
- 窓: 飛散防止フィルムを貼る、ひび割れや窓枠のたつきはないか
- 雨戸やシャッター: がたつきやゆるみがないか、ちゃんと開閉するか
- 物干し竿: 飛ばされないように下ろす
- 土のう・止水板: 玄関や床下換気口などへ設置して、住宅への浸水被害を限りなく減らす
- 側溝や排水口: 掃除して水の流れをよくしておく
- 樹木・庭木・ベランダのもの: 飛ばされそうなのは家中へ、倒れたりしないように支柱で固定する
- プロパンガス: 固定されているか

家の中

- 雨戸を閉めたり、飛来物が入り込んでくるのを防ぐためカーテンやブラインドを閉める
- 貴重品、動かせる家具、家電製品など、水に濡れるものを高い所に移動させる
- 停電に備えて、携帯電話やパソコンを充電する

### 自宅での避難生活の備え

自力で3日間を過ごす準備! 備蓄品を備えましょう

- 食料品: 缶詰やレトルト食品など 非常食3日分を食む7日分以上を備蓄
- 水: 飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安 非常食3日分、できれば7日分以上を備蓄
- 燃料: カセットコンロ、予備のボンベなど
- 工具: ロープやスコップなど
- その他: ウェットティッシュ、タオル、簡易トイレ、毛布、ラップ、食器類など

消費と購入を繰り返す ローリングストック方式による備蓄の推進

買い足す 使う 備える

買い足す: 買ったものを定期的に使って、使った分を買い足し、備蓄していく方法。常に品目、量を保ちながら、多めに備えているものを日常生活の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。

### 避難所での注意点

プライバシーを守りましょう  
他人の荷物などを勝手に触ったり、のぞいたりしてはいけません。

貴重品は常に携帯しましょう  
過去の災害では、避難所での盗難が発生しています。貴重品は必ず持ち歩きましょう。

相手への配慮  
他人をしるし見るなど、相手を不快にさせる行為はやめましょう。困っている人がいたら、声をかけるか避難所係員まで連絡しましょう。

避難所では静かに過ごしましょう  
飛沫感染を防ぐことや、寝ている人の邪魔にならないために、大声や大きな物音をたてるのは控えましょう。

ソーシャルディスタンスを確保しましょう  
避難所では、密を避け、他人との間隔をなるべく広げましょう。

必ずマスクを着用しましょう  
避難所内での感染症拡大を防ぐために、必ずマスクを着用してください。着用を拒否した場合は、退出していただく場合があります。

ごまめに水分補給をしましょう  
暑さなどで喉が乾かないようにこまめに水分を補給してください。

うがい、歯磨きをしましょう  
口内環境が悪いと思われ病気にかかることがあります。毎日うがいや歯磨きをしましょう。

暑さ・寒さ対策をしましょう  
停電などで空調が使用できない場合に備えて、うちわや扇子、薄い毛布(ブランケット)などを用意しておきましょう。

体調が悪くなったらすぐに避難所係員へ相談しましょう  
体調がすぐれない人用の生活スペースを設けています。周囲に影響が出る前に、すぐに避難所係員へ相談してください。

ごまめに消毒をしましょう  
ほとんどの場所が共有スペースのため、人の手の触れる機会が多くなります。自分の生活スペースに戻る前に必ず消毒をしましょう。

定期的に検温をしましょう  
体調が悪く感じた時にはすでに症状が悪化している場合があります。定期的に検温し、体調管理を徹底しましょう。

## 自宅を離れて安全確保～避難の準備

### 自宅を離れる際の注意点

自宅を離れる前に!

- ガスの元栓を閉め、電気スイッチ、ブレーカーを切る
- 家族の安全を確認。親戚や知人に避難することを連絡する

徒歩で避難所へ!

- 以下の問題が発生するおそれがあります
- 交通渋滞
- 浸水による故障
- 緊急車両の妨げ

情報収集と自ら判断を!

- 最新情報入手する。
- デマに注意する。

### 非常時の持ち物 チェックしましょう。

夜間での避難を前提に足元を照らす「懐中電灯」をはじめとして、「替えの下着」なども必要となります。過去の避難の教訓から、緊急避難でない場合は、「1食分程度の食料」を自分で用意する心がけが必要です。

食料品

- 飲料水
- 非常食
- 貴重品
- 現金通帳
- 印鑑
- 現金
- 保険証

衣類・衛生用品など

- 下着・上着
- タオル・ウェットシート
- 洗面用具
- 歯ブラシ
- 携帯トイレ

日用品など

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 携帯電話
- 充電器

小さな子どもや高齢者の方が居る家庭では

- 粉ミルク、母乳瓶
- 紙おむつ
- 簡易食器
- 常備薬
- 流動食
- お薬手帳

ペットの居る家庭では

- ペットフード
- ケージ
- ふん尿の処理用品

女性向け

- 防犯ブザー、ホイッスル
- 生理用品
- ヘアゴム・くし、手鏡

### 避難所内での感染症拡大を防ぐために...

必ずマスクを着用しましょう  
避難所内での感染症拡大を防ぐために、必ずマスクを着用してください。着用を拒否した場合は、退出していただく場合があります。

定期的に検温をしましょう  
体調が悪く感じた時にはすでに症状が悪化している場合があります。定期的に検温し、体調管理を徹底しましょう。

ごまめに消毒をしましょう  
ほとんどの場所が共有スペースのため、人の手の触れる機会が多くなります。自分の生活スペースに戻る前に必ず消毒をしましょう。

体調が悪くなったらすぐに避難所係員へ相談しましょう  
体調がすぐれない人用の生活スペースを設けています。周囲に影響が出る前に、すぐに避難所係員へ相談してください。